

略 歴

令和3年10月1日現在

ふりがな 氏 名	かとり ひでとし 香取 秀俊	生年月日	昭和39(1964)年9月27日(57歳)
現職 (専門分野)	東京大学大学院工学系研究科 教授 (量子エレクトロニクス)		
国籍 (本籍地)	日本 (東京都)		
学位	平成6(1994)年10月 工学博士(東京大学)		
経歴	<p>昭和58(1983)年3月 茨城県立土浦第一高等学校卒業</p> <p>昭和63(1988)年3月 東京大学工学部物理学科卒業</p> <p>平成2(1990)年3月 東京大学大学院工学系研究科修士課程修了</p> <p>平成3(1991)年7月 東京大学大学院工学系研究科博士課程中途退学</p> <p>平成3(1991)年8月 東京大学工学部・教務職員</p> <p>平成6(1994)年4月 東京大学工学部・助手</p> <p>平成6(1994)年10月 東京大学大学院 論文博士(工学) 取得</p> <p>平成6(1994)年9月 ドイツ、マックスプランク量子光学研究所・客員研究員</p> <p>平成9(1997)年3月 東京大学工学部・助手退職</p> <p>平成9(1997)年3月 科学技術振興事業団・戦略的創造研究推進事業 研究員</p> <p>平成9(1997)年10月 科学技術振興事業団 五神協同励起プロジェクト・基礎グループリーダー</p> <p>平成11(1999)年4月 東京大学工学部附属総合試験所 協調工学部門・助教授</p> <p>平成14(2002)年10月 科学技術振興事業団・さきがけ研究・研究員兼務</p> <p>平成17(2005)年4月 東京大学大学院工学系研究科 物理工学専攻・助教授</p> <p>平成17(2005)年10月 科学技術振興機構・戦略的創造研究推進事業・研究代表者</p> <p>平成22(2010)年5月 東京大学大学院工学系研究科 物理工学専攻・教授 現在に至る</p> <p>平成22(2010)年10月 科学技術振興機構・戦略的創造研究推進事業・ERATO 香取創造時空間プロジェクト研究総括(～平成28年3月)</p> <p>平成23(2011)年4月 独立行政法人理化学研究所・基幹研究所・香取量子計測研究室・招聘主任研究員</p> <p>平成26(2014)年4月 ドイツ、チュービンゲン大学、Distinguished Guest Professor(～2022)</p> <p>平成27(2015)年4月 国立研究開発法人理化学研究所 香取量子計測研究室・主任研究員、光量子光学研究領域・時空間エンジニアリング研究チームリーダー 現在に至る</p> <p>平成29(2017)年4月 東京大学大学院工学系研究科附属光量子科学研究センター長(～平成30年3月)</p> <p>平成30(2018)年11月 科学技術振興機構・未来社会創造事業・大規模プロジェクト型プログラムマネージャー 現在に至る</p>		

<p>受賞歴</p>	<p>[国際学術賞]</p> <p>平成 17(2005)年 Julius Springer Prize for Applied Physics, “For his pioneering work on ultrahigh precision optical clocks and its enormous impact on basic research as well as on a great variety of applications”</p> <p>平成 17(2005)年 European Time and Frequency Award, “For a brilliant break-through in the field of optical frequency standards”</p> <p>平成 20(2008)年 2008 RABI AWARD, “For outstanding contributions to the invention and development of an optical lattice clock”</p> <p>平成 23(2011)年 The Philipp Franz von Siebold Prize 2011</p> <p>平成 26(2014)年 Distinguished Guest Professorship (2014–2017), Tubingen University, Germany</p> <p>平成 29(2017)年 Distinguished Guest Professorship(2017–2022), Tubingen University, Germany</p> <p>令和 2(2020)年 Micus Quantum Prize 2020, jointly with Jun Ye, “For their groundbreaking achievements in precision quantum measurements, in particular for the development of extremely stable and accurate optical atomic clocks.”</p> <p>令和 3(2021)年 Breakthrough Prize in Fundamental Physics 2022</p> <p>[国内学術賞]</p> <p>平成 13(2001)年 丸文研究奨励賞、「アルカリ土類原子の極低温・高密度レーザー冷却法の開発」</p> <p>平成 17(2005)年 第 1 回 日本学術振興会賞、「光格子を用いた超高精度・原子時計の開発」</p> <p>平成 18(2006)年 丸文学術特別賞、「「光格子時計」手法による超高精度原子時計の実現」</p> <p>平成 18(2006)年 第 20 回 日本 IBM 科学賞、「超高精度原子時計を実現する「光格子時計」の開発」</p> <p>平成 22(2010)年 第 42 回 市村学術賞・特別賞、「光格子時計の提案・実証による新たな原子時計手法の確立」</p> <p>平成 23(2011)年 第 12 回光・量子エレクトロニクス業績賞（宅間宏賞）、香取秀俊・高本将男、「光格子時計の開拓」</p> <p>平成 23(2011)年 平成 23 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰・科学技術賞・研究部門、「光格子時計の研究」</p> <p>平成 24(2012)年 2011 年度朝日賞、「光格子時計に関する研究」</p> <p>平成 25(2013)年 第 54 回藤原賞、特別賞「光格子時計の発明と実現による高精度原子時計技術の開発</p> <p>平成 25(2013)年 第 53 回東レ科学技術賞・「光格子時計の発明と原子時計の超高精度化」</p> <p>平成 25(2013)年 2013 年度、仁科記念賞「光格子時計の発明」、公益財団法人</p> <p>平成 26(2014)年 2014 年度、秋の紫綬褒章「量子エレクトロニクス研究功績」</p> <p>平成 27(2015)年 2015 年度、日本学士院賞「光格子時計の発明とその開発」</p> <p>平成 28(2016)年 第 16 回応用物理学会業績賞（研究業績）・「光格子時計の先駆的研究」</p> <p>平成 29(2017)年 第 14 回江崎玲於奈賞、「光格子時計の考案、実証および高精度化」</p> <p>令和 2(2020)年 第 90 回服部報公会・90 周年特別賞、「光格子時計の発明と実証による超高精度な時空間計測に関する先駆的貢献」</p>
------------	---